
平成22年2月期 第2四半期 決算説明会



平成21年9月29日

株式会社サンワドー

<http://www.sanwado.com>



SANWADO

1. サンワドー 経営理念

明 元 素
明るく元気で素直な商い

<経営信条>

- 我が社は、商道を通じて、地域社会への奉仕を実践する。
- 我が社は、物を販売するにあらず、商品を通じて愛と真心を提供する。
- 我が社は、中心帰一の精神を重視する。
- 我が社は、人間性尊重を第一とし、豊かにしかも厳しく社員の無限の可能性を追求する。
- 我が社は、企業は人なり、人間性信頼による人づくりこそ少数精鋭主義の第一とする。
- 我が社は、社員の創造力こそ、最大の資産と考える。
- 我が社は、常に堅実経営を基盤に経営体質を強化する。
- 我が社は、経営の中に実質主義、一流主義、誠実主義を徹底させる。
- 我が社は、商品開発を経営理念実現の第一とし、常に顧客の立場に立って、商品を徹底探索し、広く世界に求める。
- 我が社は、世界的視野に立ち経営することを信条とし、優秀なる先輩企業に学び常に適切なる革新をし、時流に適応する企業となる。

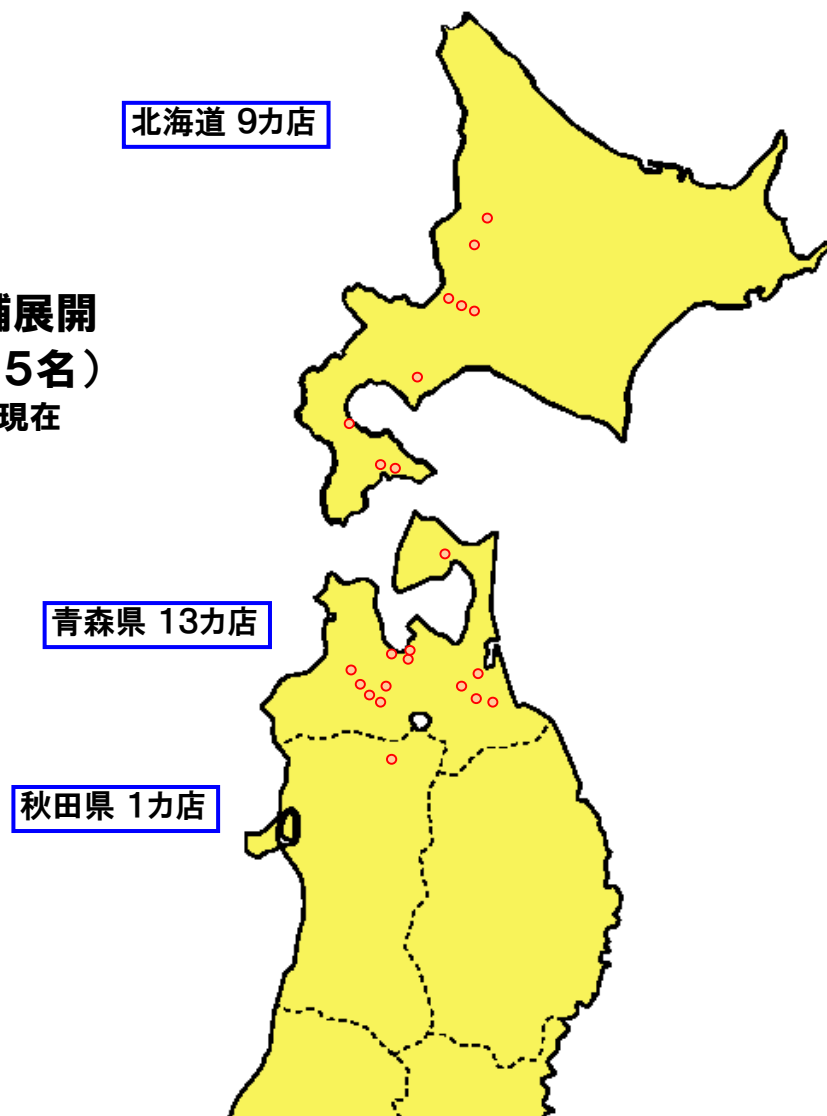
2. サンワドー 会社プロフィール

■ 社名	株式会社サンワドー
■ 本社所在地	青森県青森市石江字三好69-1
■ 代表者	代表取締役社長 中村 勝弘
■ 設立	1988年6月1日
■ 資本金	7億402万円
■ 店舗数	ホームセンター23店舗 現在、青森県、北海道を中心に店舗展開
■ 従業員数	785名(社員 270名、準社員 515名) ※ 平成21年8月20日 現在
■ 発行済株式数	5,280,000株

<グループ企業>

社名	株式会社ワールドジャンボ
所在地	青森県
資本金	10百万円
事業内容	カー用品販売
持株比率	100%

社名	三和部品株式会社
所在地	青森県
資本金	10百万円
事業内容	カー用品卸売業
持株比率	100%



3. サンワドーグループ

■ 豊かな暮らしのコーディネーター

サンワドー

CAL
カー用品販売

アップガレージ
中古自動車パーツ販売

オイルボーイ
オイル販売

セキド
家電販売

BAL
ブランド品販売

業務スーパー
業務用食品販売

ホームセンター

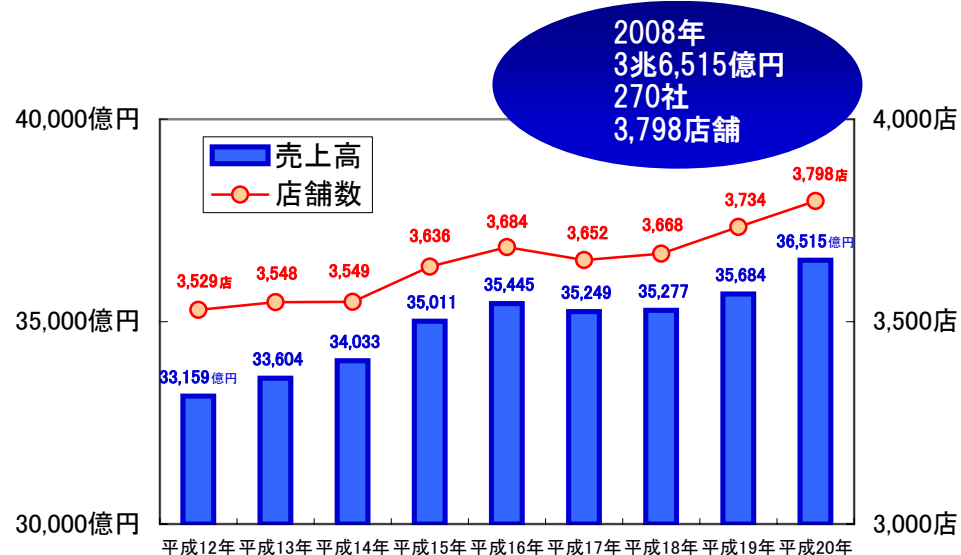
子会社

ワールドジャンボ
カー用品販売

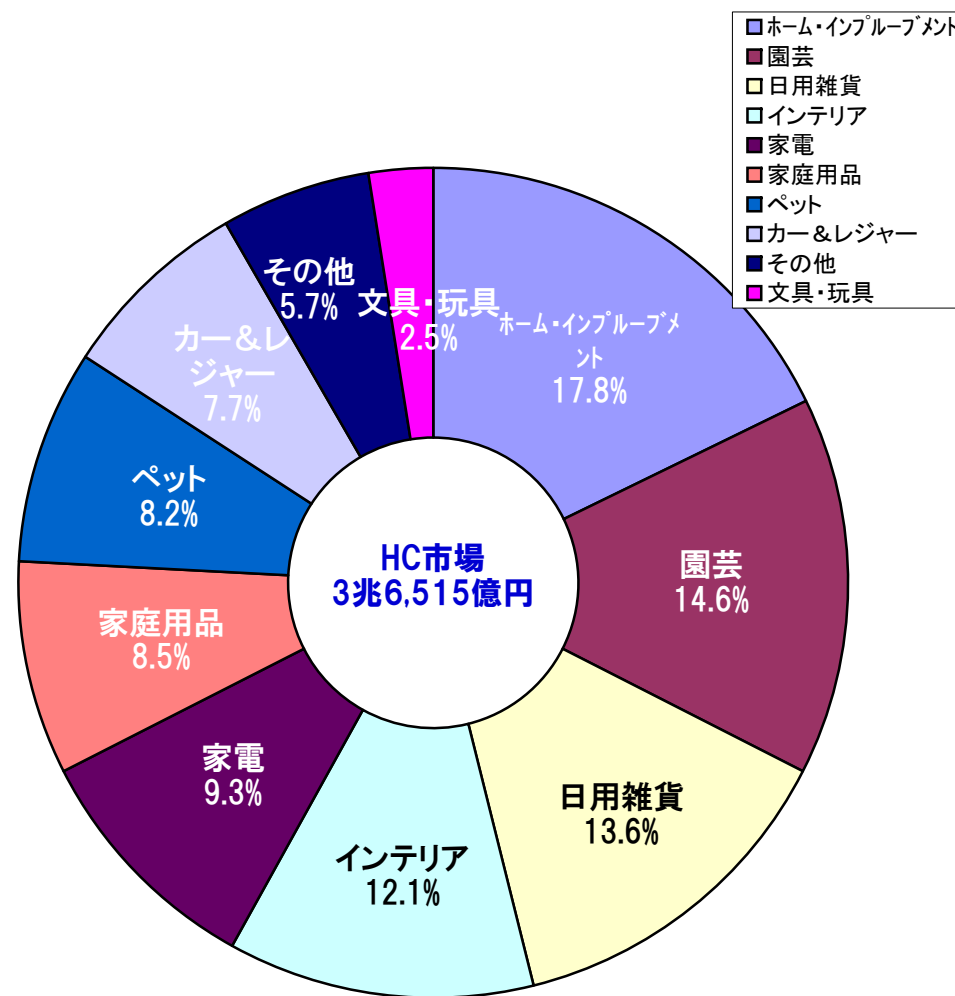
三和部品
カー用品卸売

4. ホームセンター業界の現状（平成20年12月期）

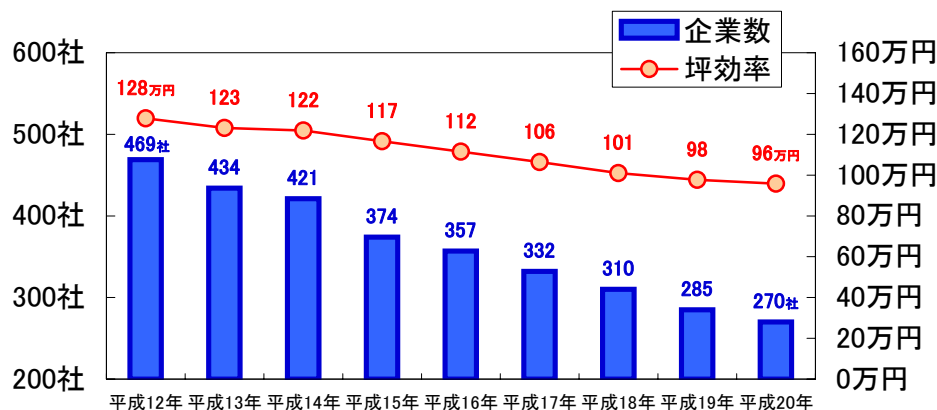
■ ホームセンター 市場規模と店舗数



■ ホームセンター 商品部門別



■ ホームセンター 経営企業数



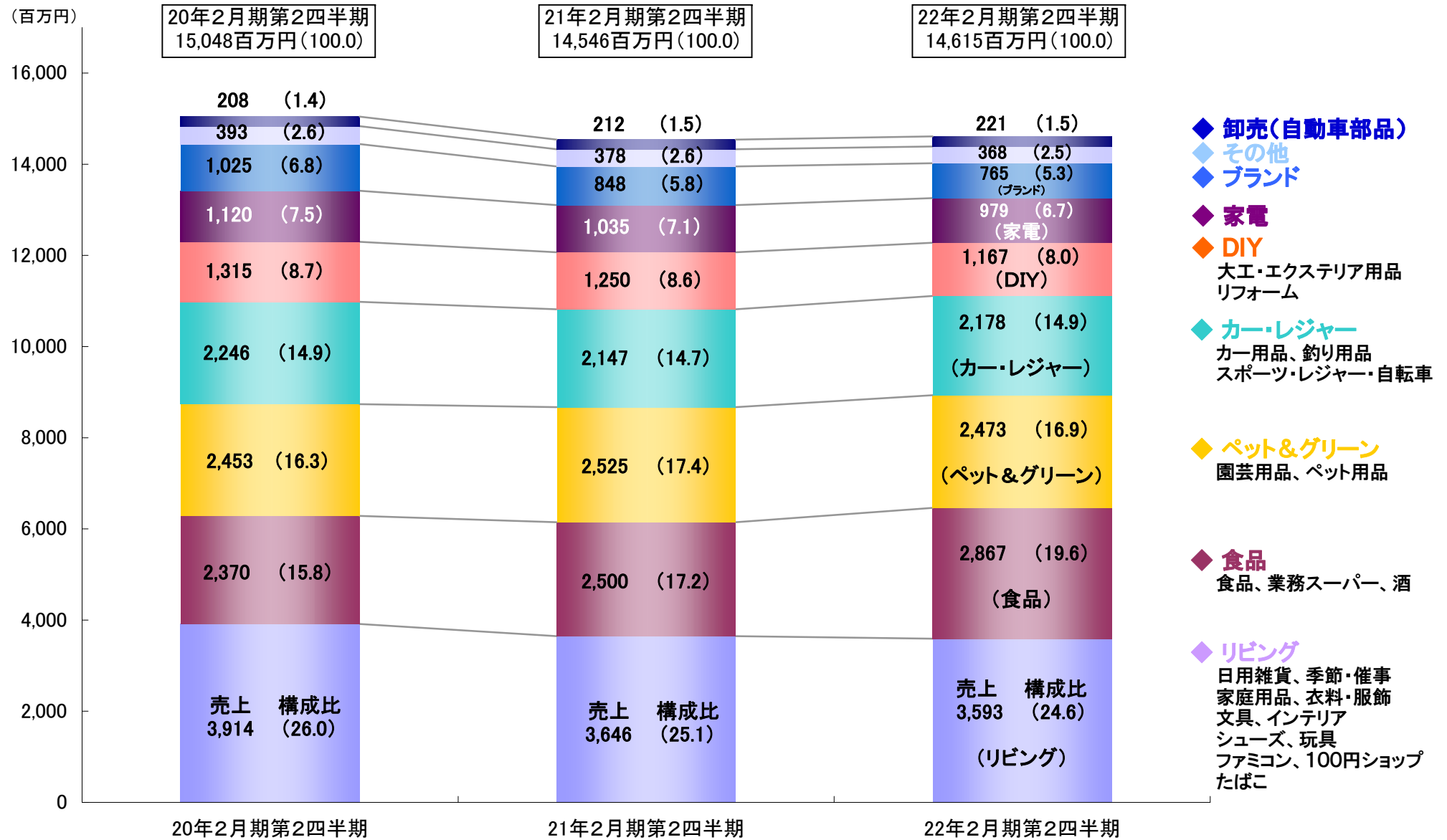
5. サンワドー 業績概要（売上高の推移）

<連結ベース>

（単位：百万円）

		前々期 20年2月期 第2四半期	前 期 21年2月期 第2四半期	当 期 22年2月期 第2四半期	前期比 増減額	前期比 増減率(%)
連 結 売 上 高		15,048	14,546	14,615	69	0.5
小 売 部 門	リ ビ ン グ	3,914	3,646	3,593	▲53	▲1.5
	食 品	2,370	2,500	2,867	367	14.7
	ペット & グリーン	2,453	2,525	2,473	▲52	▲2.1
	カー・レジャー	2,246	2,147	2,178	31	1.4
	D I Y	1,315	1,250	1,167	▲83	▲6.6
	家 電	1,120	1,035	979	▲56	▲5.4
	ブ ラ ン ド	1,025	848	765	▲83	▲9.8
	そ の 他	393	378	368	▲10	▲2.5
部 門 計		14,839	14,333	14,393	60	0.4
卸 売 部 門		208	212	221	9	4.3

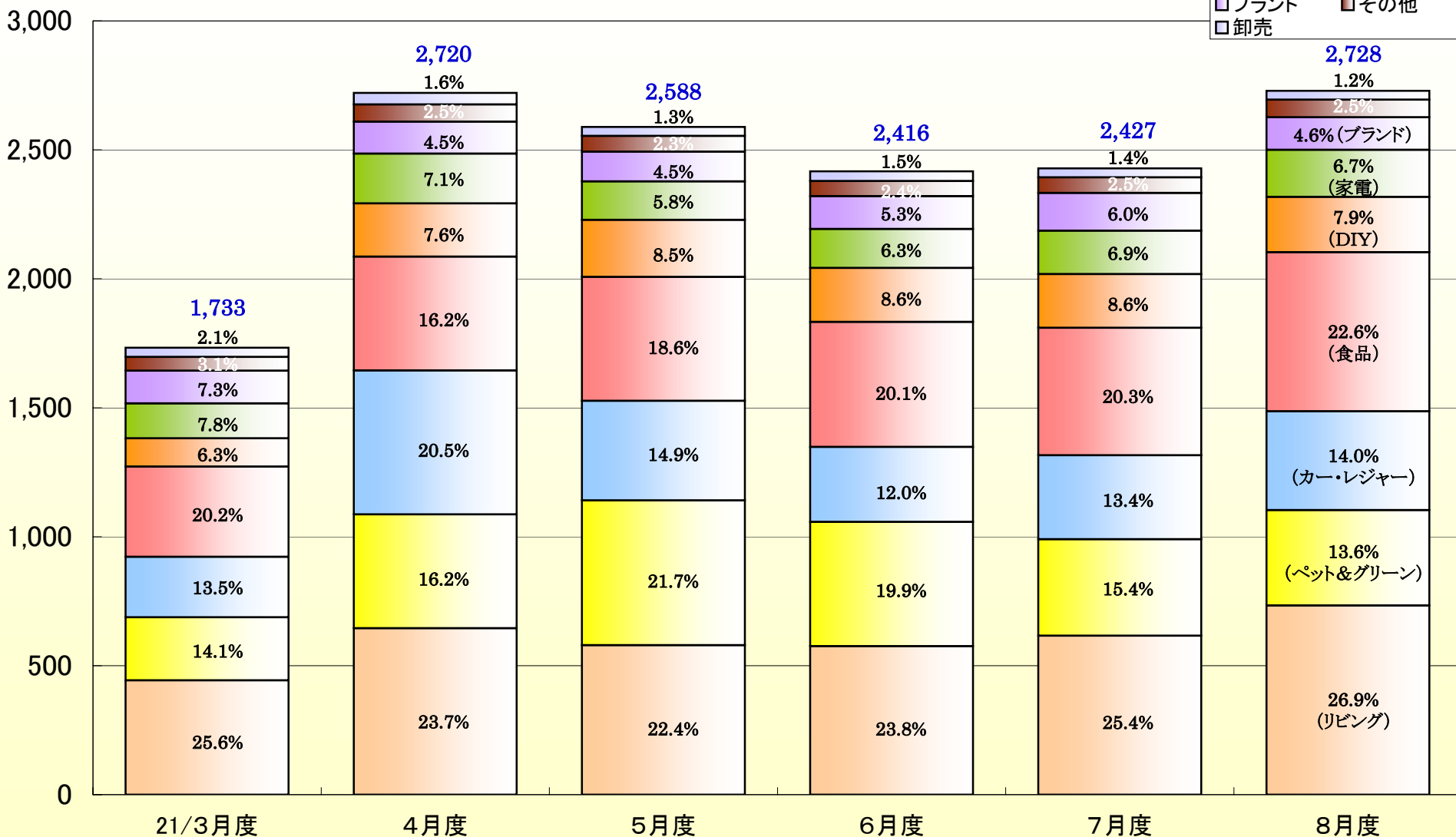
6. サンワドー 業績概要（部門別売上高構成推移）



7. サンワドー 業績概要（月次売上動向）

22年2月期第2四半期 月次売上動向（連結）

（百万円）



SANWADO

8. サンワドー 業績概要（連結損益計算書）

<連結ベース>

（単位：百万円）

	前々期 20年2月期 第2四半期		前期 21年2月期 第2四半期		当期 22年2月期 第2四半期		前期差	前期比	備 考
売上高	15,048	—	14,546	—	14,615	—	69	100.5%	
売上総利益	3,434	22.8%	3,217	22.1%	3,067	21.0%	▲150	95.3%	
販管費	3,240	21.5%	3,119	21.4%	2,906	19.9%	▲213	93.2%	
営業利益	193	1.3%	97	0.7%	160	1.1%	63	164.9%	
経常利益	162	1.1%	74	0.5%	129	0.9%	55	172.9%	
当期純利益	▲43	—	▲54	—	13	0.1%	67	—	
ROA (総資産経常利益率)	0.8%	—	0.4%	—	0.7%	—	—	—	ROA = 経常利益 ÷ 総資産
ROE (純資産当期純利益率)	—	—	—	—	0.3%	—	—	—	ROE = 当期純利益 ÷ 純資産

9. サンワドー 業績概要（売上の状況）

売上高

- ① 売上高は、お買い得商品3,000品目を選定し、ロープライス戦略を展開したことと、弘前樋の口店の食品部門増設が寄与し、前年比0.5%増と前年並みを維持いたしました。
- ② 部門別では、生活防衛のための外食から内食志向傾向が続いており、業務スーパーを中心の食品部門の売上げが前年同期比14.7%増加しました。
カー・レジャー部門は、ETC需要が第2四半期を通し引続き継続し前年比1.4%の微増となりました。
一方、節約志向から生活必需品以外のブランド部門（前年比90.2%）、家電部門（前年比94.6%）等は減少しました。
また、景気低迷から住宅関連需要も減少しておりDIY部門（前年比93.4%）、リビング部門（前年比98.5%）も減少しました。
ペット&グリーン部門も梅雨期間が例年より長期化し、低温、天候不順から前年比97.9%と減少しました。

10. サンワドー 業績概要（収益状況）

売上総利益

売上高は前年並みを維持しましたが、低粗利率の食品部門の構成比率が前年の17.2%から19.6%に2.4ポイント増加したことや、「家計応援」お買い得商品のロープライス戦略を展開したことから、粗利率が21.0%と前年比1.1ポイント低下し、売上総利益は前期比150百万円減少し3,067百万となりました。

販管費

本年3月から社員を対象に変形労働時間制を導入したこと、又、準社員の雇用契約を変更（一日の労働時間8H→6H）したこと等から、人時生産性が向上し総労働時間数は前年比86,800時間減少、人件費は83百万円の節減となりました。また広告宣伝費で55百万円の削減の他、リース料、不動産賃借料、通信費等の節減の結果、販管費は前期比213百万円を圧縮し2,906百万円となりました。

営業利益

営業利益は、粗利額の減少を販管費の節減によって補いましたが、前回予想値を30百万円下回り160百万円となりました。前年同期比では64.9%の増益であります。

当期純利益

当期純利益は、第1四半期において、たな卸資産評価損93百万円の特別損失計上し、さらに第2四半期において店舗改装（弘前樋の口店）に係る固定資産除却損9百万円の発生等がありましたが、13百万円の黒字を確保しました。

1 1. サンワドー 業績概要（販管費の状況）

<連結ベース>

（単位：百万円）

	前々期 20年2月期 第2四半期	前期 21年2月期 第2四半期	当期 22年2月期 第2四半期	前期差	前期比	備 考
人件費	1,564	1,494	1,411	▲83	94.5%	本年3月から変形労働時間制を導入したことから、総労働時間数が86,800時間減少し83百万円削減しました。
広告宣伝費	282	261	206	▲55	79.1%	印刷費の削減と広告回数を制御し費用対効果を考慮した広告を展開したことにより55百万円削減しました。
水道光熱費	209	210	208	▲2	98.8%	
不動産賃借料	513	521	514	▲7	98.6%	
減価償却費	118	112	96	▲16	86.4%	

※ 人件費の構成は以下の通りであります。

役員報酬、給与、手当、出向社員給与、雑給与、賞与、賞与引当金繰入額、役員賞与引当金繰入額
 役員退職慰労引当金繰入額、退職金、適格退職年金掛金、法定福利費、福利厚生費、採用費、教育研修費
 出向社員給与戻り

12. サンワドー 業績概要（個別損益計算書）

（単位：百万円）

	(株)サンワドー			(株)ワールドジャンボ			三和部品(株)			※ 修正		グループ合計		
	前期 21年2月期 第2四半期	当期 22年2月期 第2四半期	前期比	前期 21年2月期 第2四半期	当期 22年2月期 第2四半期	前期比	前期 21年2月期 第2四半期	当期 22年2月期 第2四半期	前期比	前期 21年2月期 第2四半期	当期 22年2月期 第2四半期	前期 21年2月期 第2四半期	当期 22年2月期 第2四半期	前期比
売上高	13,674	13,707	100.2%	707	740	104.8%	218	227	104.4%	▲53	▲60	14,546	14,615	100.5%
売上総利益	2,963	2,796	94.4%	219	237	108.2%	36	35	98.2%	▲0	▲0	3,217	3,067	95.3%
販管費	2,884	2,677	92.8%	223	218	98.0%	36	34	94.2%	▲23	▲23	3,119	2,906	93.2%
営業利益	78	118	149.8%	▲4	18	—	▲0	1	—	22	23	97	160	164.9%
経常利益	79	110	139.1%	▲2	19	—	0	1	576.0%	▲2	▲2	74	129	172.9%
当期純利益	▲50	2	—	▲1	10	—	▲0	1	—	▲1	▲1	▲54	13	—

※ 修正は、グループ内取引を相殺するためのものです。

13. サンワドー 経営計画（平成22年2月期）

（単位：百万円）

	連 結				単 体			
	21年2月期 実績		22年2月期 計画		21年2月期 実績		22年2月期 計画	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売 上 高	28,787	96.6%	28,650	99.5%	26,935	96.7%	26,700	99.1%
売上総利益 (売上総利益率)	6,403 (22.2%)	94.1%	6,450 (22.5%)	100.7%	5,863 (21.8%)	94.3%	5,880 (22.0%)	100.3%
販 管 費	6,218	95.9%	6,030	97.0%	5,741	95.9%	5,540	96.5%
営 業 利 益	185	57.7%	420	226.3%	122	53.9%	340	277.7%
経 常 利 益	109	38.3%	330	300.9%	93	39.0%	300	322.5%
当 期 純 利 益	▲197	—	100	—	▲207	—	85	—

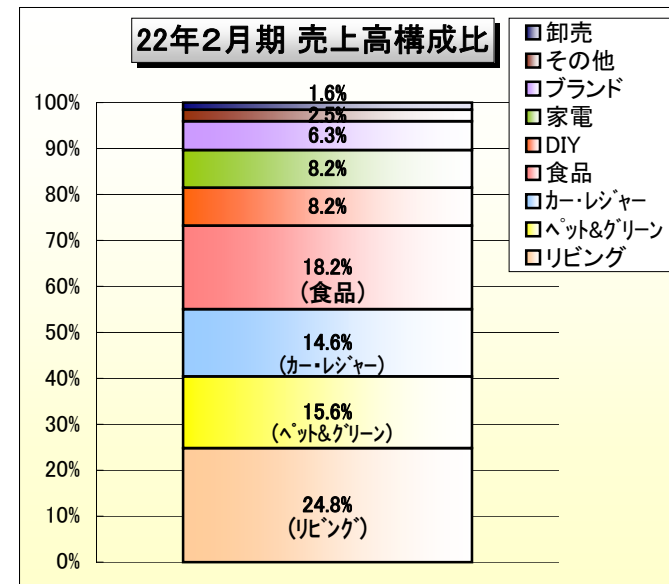
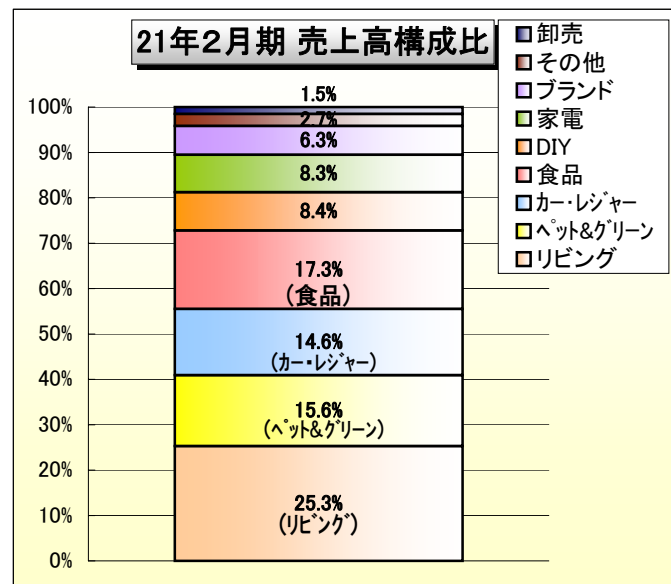
※ 本資料には、株式会社サンワドーおよびそのグループ会社に関する予想、計画等の将来に関する記述が含まれています。

これらの情報は、現時点で入手可能な情報に基づく予測等を基礎としています。

実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料の予想と大きく異なる可能性があります。

また、将来情報に関する記述は本資料作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに更新するという義務および方針を有しておりません。

14. サンワドー 経営計画（売上高）



平成22年2月期の売上計画(28,650百万円)

8月20日、不採算店舗であった函館湯の川店を閉鎖しましたが、ザ・サンワ樋の口店を改装(7月23日)し導入した食品部門の売上げが好調なこと、業務スーパー部門、食品部門が好調なことから通期の売上げは、計画通り達成する見込みです。

既存店

食品部門強化のため、既存店の改装を実施してまいります。

また、売れ筋商品3,000品目の値入率改善し、よりお客さまに喜んでもらえる地域一番価格を打出し、客数増加と買上点数増加を目指してまいります。

更に、エリアスーパーバイザーの機能強化を図り、「お客さまに分かりやすい売場」、「お客さまに喜ばれる商品の提供」の店舗指導を強化してまいります。

15. サンワドー 経営計画（収益計画）

売上総利益

本年8月より単品毎の販売・仕入実績及び在庫管理のためシステム構築作業を始めました。これにより在庫の適正化と、在庫回転率の向上並びに不活動在庫と商品ロスの削減から売上総利益率を21.0%(当期第2四半期)から22.5%に改善し、売上総利益額6,450百万円を確保して参ります。

販管費

変形労働時間制の運用を定着させ、人時生産性の向上に注力し、総労働時間の圧縮と人件費の節減に努めるほか、その他販管費の節減に努め、今年度通期営業利益は420百万円を目指します。

当期純利益

第1四半期において、たな卸評価損93百万円を特別損失計上いたしました。第2四半期の公表予想額10百万円(実績13百万円)をクリアしており、通期の当期純利益の見込みは公表予想額100百万円といたします。

16. サンワドー 経営計画（取組課題）

今後の国内経済の見通しにつきましては、引続き先行き不透明感は強く、個人消費の低迷が予想され、地域経済にあっても個人消費の回復感に乏しく、小売業界の市場環境は厳しいものと予測されます。

このような状況のなかで、当社グループは、中長期的な経営戦略に基づき、当面する課題に取り組んでまいります。

食品部門の強化、拡充

好調部門である業務スーパーを含む食品部門の拡充を図り、安心・安全な商品をより安く提供すべく体制を強化し、既存店への増設を計画してまいります。

また、市場を見極めたうえでスーパーセンター事業も視野に入れた店舗展開を進めてまいります。

既存店の強化

エリアスーパーバイザーの機能強化で、「お客さまに分かりやすい売場づくり」「お客さまに喜ばれる商品の提供」「全社あげての接客の向上」等により、よりお客さまに満足いただける店づくりをしてまいります。

粗利率改善の推進

「メーカー・ベンダーのトレードオフによる原価低減」「輸入商材の開発」「商品在庫削減」「商品ロスの削減」により、粗利率の向上を目指してまいります。

ローコストオペレーションの実現

変形労働時間制の導入による総労働時間の圧縮、効果的なチラシで広告費の削減、水道光熱費、賃料、遊休資産の見直しにより、コスト削減を徹底してまいります。

新人事制度の実施

変形労働時間制導入による効率化を目指すとともに、役割りに応じた手当の明示、自己啓発推進を目的とした資格手当の新設、評価制度の導入などの新人事制度を取り入れ、社員のモチベーション向上を目指してまいります。

17. サンワドー 経営計画（業績推移グラフ）

＜連結ベース＞

(百万円)

35,000

30,000

25,000

20,000

15,000

10,000

5,000

30,967

29,798

28,787

28,650

19/2月期

20/2月期

21/2月期

22/2月期計画

(百万円)

450

380

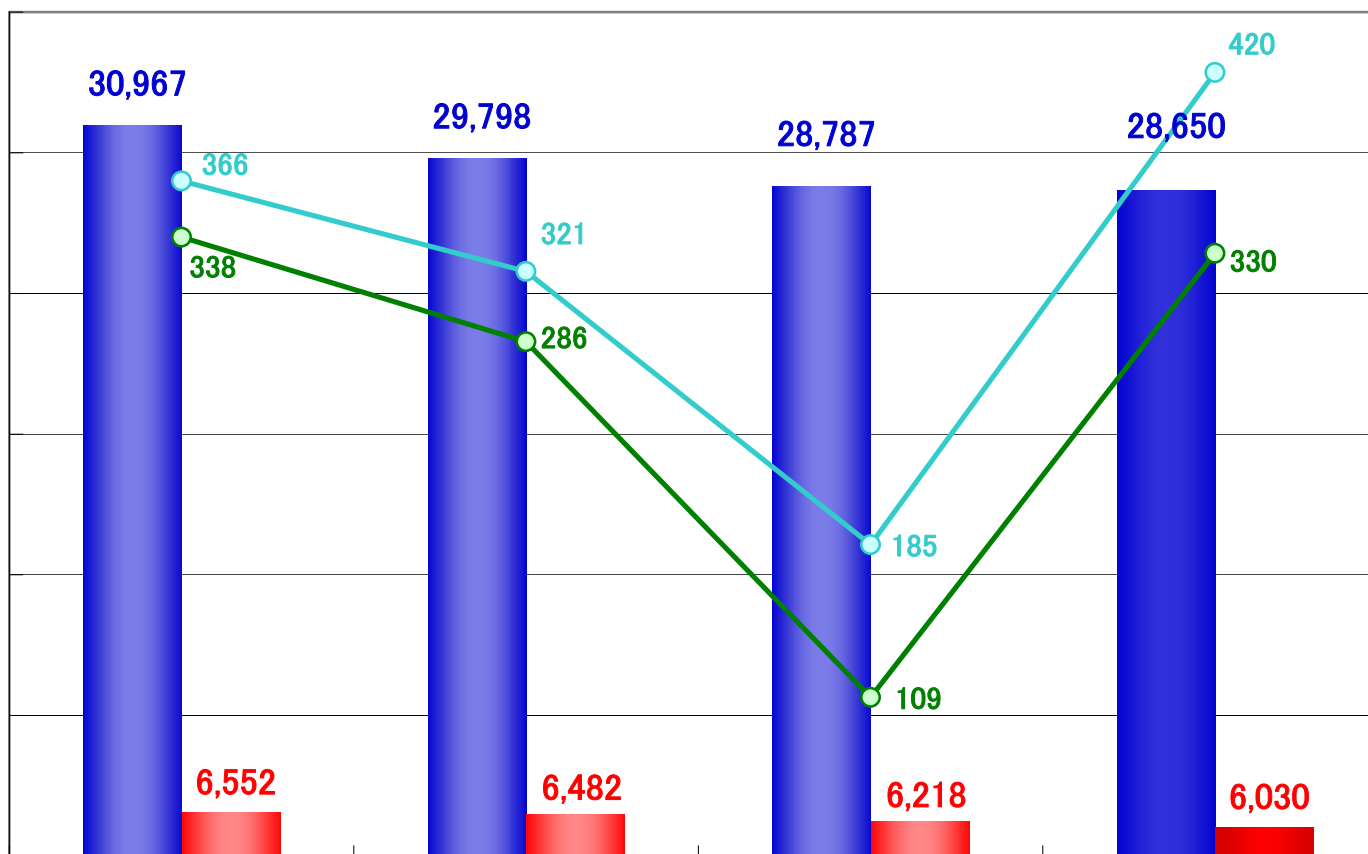
310

240

170

100

30



※ 本資料には、株式会社サンワドーおよびそのグループ会社に関する予想、計画等の将来に関する記述が含まれています。

これらの情報は、現時点で入手可能な情報に基づく予測等を基礎としています。

実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料の予想と大きく異なる可能性があります。

また、将来情報に関する記述は本資料作成時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに更新するという義務および方針を有しておりません。

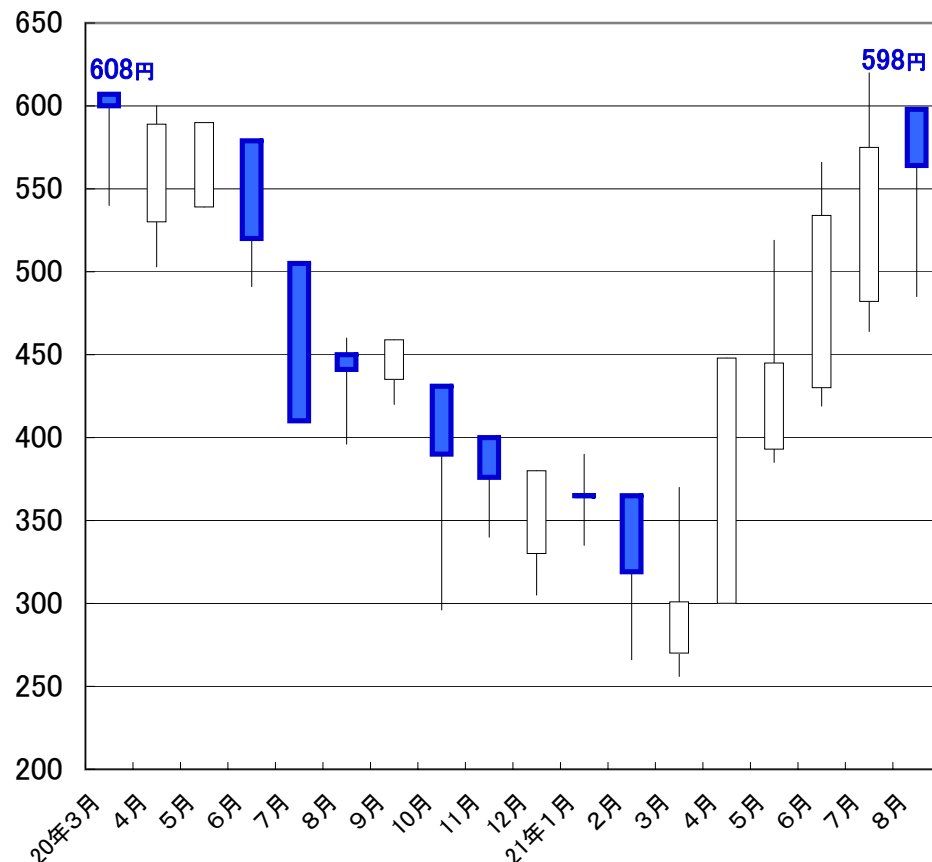


SANWADO

18. サンワドー 株価動向

■ 株価推移

20年3月～21年8月



※ 各月は1日～末日の期間

■ 配当状況

	19年2月	20年2月	21年2月	22年2月 予定
年間配当金	12円00銭	10円00銭	10円00銭	10円00銭

■ 株主優待

	選べるギフト			
	500株以上 1,000株未満	3,000円相当		
	完熟りんご ジュース	つがりあん メロン	嶽きみ (とうもろこし)	
1,000株以上	5,000円相当			商品券
	完熟りんご ジュースセット	つがりあん メロン	嶽きみ (とうもろこし)	

※ 「りんごジュース」「つがりあんメロン」「嶽きみ」とともに、県内外の株主の皆さまからご好評をいただいております。

19. サンワドー 社会貢献活動

社会貢献

社会福祉施設への電化製品寄贈



昭和52年、マッサージ器5台の寄贈で始まったこの活動は、各時代の必要性も反映し、カラーテレビ、BSテレビ、ビデオカメラ、パソコンなどのほか、車椅子などの寄贈も含め、平成20年まで32年間継続して行ってきました。これまでの寄贈先施設数は延べ521施設、寄贈額は1億4200万円を超し、県内の様々な施設でご利用いただいております。

環境貢献

エコル協定への参加(レジ袋等削減)

ゴミ排出量の削減や二酸化炭素削減など、環境への取組みとして、「青森市ごみ問題対策市民会議」「事業者」「青森市」の3者が協力して環境保全に取り組む『レジ袋等削減 エコル協定』に参加しました。



清掃活動

第14回 青森掃除に学ぶ会の開催

いまや世界規模にまで発展している「日本を美しくする会」。サンワドーでは、平成8年に青森支部を立ち上げて14年間、毎年青森市内の小・中学校で、トイレ清掃を実施しています。

最近では、親子や学校関係者の参加も増え、平成21年は201名も参加していただきました。



文化交流

ねぶた祭りでの「ゴミ0作戦」

平成20年に続き、21年度の「ねぶた祭り」でも、観光客の皆さまに、より快適に祭りを楽しんでいただこうと、祭り期間中のゴミ拾い「ゴミ0作戦」を実施しました。



SANWADO